

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 1資本的支出

項 1建設改良費

目 1新設工事費

事務事業番号 01010101

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
新設事業		164,519 千円	37,859 千円	83,370 千円	千円	43,290 千円
上下水道部水道整備課						
根拠法令	水道法					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	給水区域内未給水区域の解消を行い、水道水利用率の向上を図ります。 災害時応急給水拠点の配置計画に則して、緊急貯水槽を設置し、応急給水体制の充実を図ります。また、災害時（停電時）においてポンプ場施設の停電対策の強化を図ります。					
事業の必要性	給水区域内未給水地区の市民要望に対し、水道管を布設します。 また、市民の方にとって他に代替のないライフラインとして重要な役割を担っているため、非常時でも可能な限り給水できるよう、様々なリスクに配慮した対策を進める必要があります。					
事業の内容	1 配水管の新設 沼ノ端地区、美原町へ新たに水道管を布設しました。  2 緊急貯水槽の整備 常時清潔な飲料水を貯留する機能を有した、緊急貯水槽を避難所に指定されている、錦岡小学校へ設置しました。  3 非常用設備の整備 災害時でも消火用水や飲料水の確保をするため、非常用設備を植苗ポンプ場へ設置しました。					
						
	【新たに布設した水道管】		【緊急貯水槽設置】		【非常用設備設置】	
コスト		人件費				
事業費 (H29年度決算額)	164,519 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
人件費	千円		担当正規職員	千円	人	
総計	164,519 千円		嘱託職員	千円	人	
			再任用(フル)	千円	人	
			再任用(ハーフ)	千円	人	
			臨時職員	千円	人	
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	H29年度	H28年度	H27年度
	給水普及率		%	99.9	99.9	99.9
	緊急貯水槽整備率		%	64.7	58.8	52.9
	非常用設備整備率		%	100	75	75
成果目標	給水普及率100%を目標に、給水区域内の水道管未布設地区からの市民要望に対応していきます。 緊急貯水槽は、市内22か所の応急給水拠点のうち、17箇所に設置する計画であり、計画設置数を目標に整備を進めます。 非常用設備は、市内4か所のポンプ場の全てに整備されました。					
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	応急給水対策の充実は住民不安を取り除く効果も大きく、事業の有効性と効率性は高いと評価しています。					
事業の課題、今後の方向性等	緊急貯水槽については、他の災害対策事業とのバランスに配慮しながら整備を継続します。 また、設置した貯水槽を災害時に有効利用できるように、市民周知や職員の応急給水訓練等の取り組みを継続的に実施します。					
特記事項	コスト欄の事業費に人件費は含まれています。					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 1資本的支出

項 1建設改良費

目 2改良工事費

事務事業番号 01010202

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
改良事業		1,590,673 千円	89,998 千円	1,187,430 千円	千円	313,245 千円
上下水道部水道整備課						
根拠法令	水道法					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	老朽化した管路は、管路内の錆などにより濁水が発生しやすくなるほか、耐震性も低く、地震被害を受けやすいため、耐震化することにより、使用者の方への安定した給水が図れます。 また、水道施設の耐震化を図ることで、地震被害を最小限に抑制し、災害発生時においても、継続的に配水できる水道システムを構築します。					
事業の必要性	水道は、市民生活や産業活動において、必要不可欠なライフラインであり、たとえ短時間の断水であってもその影響は大きいものです。 水道施設の更新や耐震化は、その施設の機能向上を目的として行われ、安定的な水の供給といった使用者ニーズへ対応するために必要な事業です。					
事業の内容	1 老朽管更新事業 明德町、しらかば町、永福町、小糸井町、有明町、花園町、北光町、清水町、高丘地区、旭町、若草町、住吉町、晴海町、新明町の老朽化が進んだ管路を新しい管路に更新しました。  2 水道施設の耐震化 耐震診断によって、耐震性が低いと判断された勇振ポンプ場の耐震化を行いました。  <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【老朽管更新】</p>  <p>【推進工法による管布設】</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>【勇振ポンプ場の耐震化】</p>  </div> <div style="text-align: center;">  <p>【電気設備工事完成】</p> </div> </div>					
コスト		人件費				
事業費 (H29年度決算額)	1,590,673 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
人件費	千円		担当正規職員	千円	人	
総計	1,590,673 千円		嘱託職員	千円	人	
			再任用(フル)	千円	人	
			再任用(ハーフ)	千円	人	
		臨時職員	千円	人		
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	H29年度	H28年度	H27年度
	老朽水道管の更新率		%	82.3	79.9	78.0
	水道施設の耐震化率		%	81.6	73.7	73.7
成果目標	1 老朽管更新事業 対象としている普通鉄管は平成32年を目途に、塩化ビニル管は平成34年を目途に更新を完了する計画です。 2 水道施設耐震化事業 耐震性が低いと判断された施設について、平成39年を目途に、耐震化を完了させる計画です。					
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低			
自己評価の理由	水道水を通常時はもとより災害時にも安定的に供給することはとても重要であり、老朽管更新及び水道施設の耐震化は、事業の有効性・効率性ともに高いものであると評価しています。					
事業の課題、今後の方向性等	管路の更新には多額の費用を要し、年間の更新延長にも限りがあるため、重要な管路を優先的に更新するなど、効率的な事業実施をする必要があります。 施設の耐震化についても、災害時の安定給水には、必要な事業であり、耐震化計画に沿った事業展開をしていきます。					
特記事項	コスト欄の事業費に人件費は含まれています。					

事務事業評価（主要事業レビュー）

款 1資本的支出

項 1建設改良費

目 3量水器施設費

事務事業番号 01010303

事業名		H29年度 (決算額)	財 源 内 訳			
担当部・課			国道支出金	地方債	その他	一般財源
量水器施設事業		338,309 千円	千円	千円	千円	338,309 千円
上下水道部水道管理課						
根拠法令	計量法及び同法施行令、苫小牧市水道事業給水条例及び同条例施行規則					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金・助成金					
事業の目的・対象	水道使用者への料金請求時に、根拠となる使用量を計量するため、計量法で定められた期間内に水道メーターを取替えるための工事費及びその際に使用する検満メーターと、家屋新築時に貸与する新設メーターの購入費です。					
事業の必要性	計量法に基づく検定満期内（有効期間8年）の水道メーターの取替えは、法令上、水道事業者の義務であり、また事業運営的にも、正確な使用量の計測は必要なことです。					
事業の内容	1 検満メーター取替工事 (定期的なメーターの取替え)			2 メーター購入費 (必要なメーターの購入)		
	 <p>【作業状況】</p>			 <p>【購入メーター】</p>		
コスト		人件費				
事業費 (H29年度決算額)	338,309 千円	}	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数	
人件費	千円		担当正規職員	千円	人	
総 計	338,309 千円		嘱託職員	千円	人	
			再任用(フル)	千円	人	
			再任用(ハーフ)	千円	人	
臨時職員	千円	人				
事業実績 (活動指標)	指標名		単位	H29年度	H28年度	H27年度
	検満メーター取替工事		箇所	11,065	11,446	11,502
	検満メーター購入数		個	11,065	11,446	11,502
	新設メーター購入数		個	1,261	1,397	1,429
成果目標	検満メーターの取替えは適正かつ定期的な取替えを行うことにより、使用水量を正確に把握し、料金請求時のトラブルを未然に防ぐことにつながる事業です。新設メーターの購入は、出入庫伝票処理等、在庫管理を適切に行い、効率的な管理を行います。					
自己評価	事業の有効性（効果の達成状況）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
	事業の効率性（費用対効果）		<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低	
自己評価の理由	当事業は、お客様から頂く料金を正確に算定し、水道事業経営に必要な収益を得る、経営上の根幹ともいえる重要な事業であります。このため定期的な取替えは、事業の有効性・効率性ともに高いものであると評価しています。					
事業の課題、今後の方向性等	水道事業の経営が安定して継続できるよう、個別事業コストの管理、見直しを行ってまいります。					
特記事項	コスト欄の事業費に人件費は含まれていません。					